



HEISEI HI-TEC Co., Ltd.

Chemical products & industrial wastes management

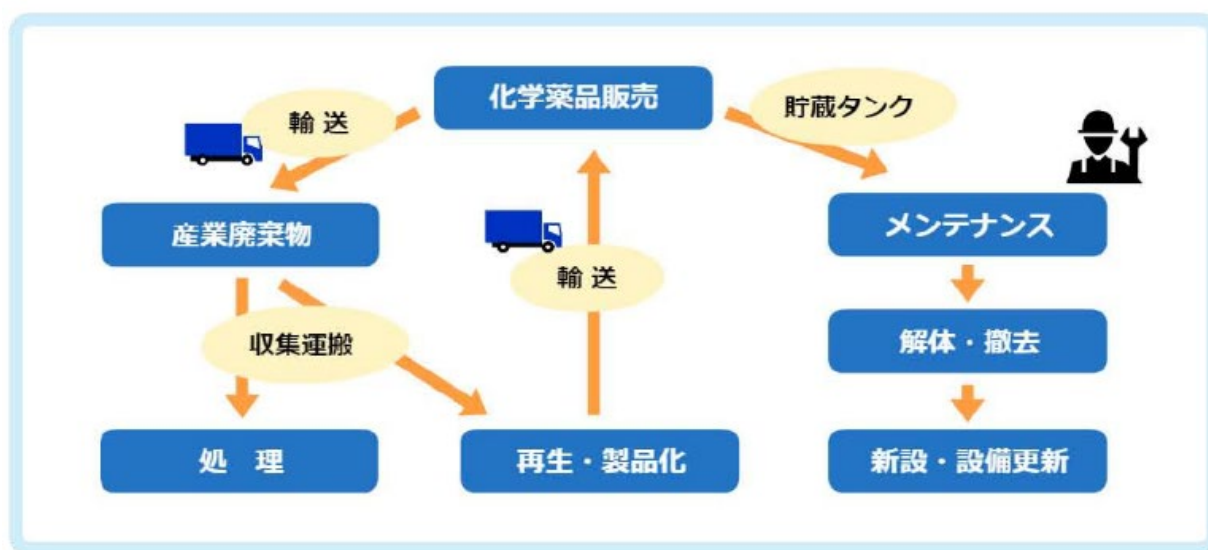
平成ハイテック株式会社 2019 年度 環境経営レポート

(対象期間 2019 年4月1日 ～ 2020 年3月31日)



化学薬品のトータルプランナー

お客様の要望にお応えし、化学薬品に関するあらゆる問題を解決します。



発行日：2020年4月2日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	4
組織の概要	5
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

特殊車輛紹介



ETFE 特性表

物理的性質	
比重	1.73～1.75
融点	265～270℃
機械的性質	
引張強度 23℃	410～470kg/cm ²
伸度 23℃	420～440%
引張弾性率	5～8×10 ³ kg/cm ²
ロックウエル硬度	R-50
摩擦係数（対ステンレス）	0.20
熱的性質	
線膨張係数	9.4×10 ⁻⁶ ℃ ⁻¹
燃焼性	不燃
化学的性質	
耐薬品性	優

フランジ

サイズ	
40A / 50A / 65A / 75A (HSK HSK)	



自然、社会との調和をめざす



ごあいさつ

1970年頃の日本の製造業はまさに量産の時代でした。関西でもワイヤロープや毛布、タオル等生産量はピークを迎えており、その製造過程で使用した酸やアルカリ廃液は未処理のまま河川に放され、赤潮や魚介類の死滅などの害が発生しておりました。

その頃に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の改正が行われ、産業廃棄物処理委託基準が制定されて、我社の活躍の場が生まれました。収集運搬業者の許認可制度、処分業者の許認可制度で遅くとも早く許認可を得た我社は、単なる収集運搬業者ではなく、廃棄物の再生利用を模索し、廃塩酸が塩化第二鉄、廃硫酸からポリ硫酸第二鉄、アルミ系廃液から硫酸バンド、ポリ塩化アルミニウム(PAC)へと、自らも再生利用して凝集剤を製造しながら、さらに余剰する廃棄物を他の化学会社へ原料として供給を行ってまいりました。

また、クロム酸老化液を無水クロム酸の原料に、塩化銅廃液は亜酸化銅の原料にと、再資源化を託しながら、廃棄物の有効活用に努めてまいりました。

工場は「内から外が見えない」ので、発生する廃棄物の有効利用や再生活用等の用途も見え難い「いかに廃棄物を有効利用に繋げるか」を代行して模索するのが我社の業務であり、社員の営業担当となっております。

そのためには、あらゆる業種の製造業を訪れて、知識を豊富にし、その会社が利用可能な廃棄物をお薦めする事から始まります。廃棄物のサンプル提出や実機テスト、メリットとデメリットの検討。その結果、有効利用が決まれば排出事業者との業務提携、契約を代理代行致します。

廃棄物は年々減量化を行い、処分費用も減らさねばなりません。製品に至るまでに如何ほど廃棄物を発生させたか、またどのように廃棄物を処分したか、が問われる時代となりました。CO2の削減問題もますます厳しくなり、対策が急がれています。我社はこのような環境問題に真剣に取り組む企業の皆様様の必ずやお役に立てるように努力して参りたく存じます。

何卒、末永くご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。 敬具

環境経営方針

<環境経営理念>

化学薬品の販売、輸送、処理コンサルタントを通じて、効果的な薬品使用、効率的な輸送体制、廃液の有効利用または減溶処理方法の提案を行うことにより、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

産業活動による地球環境に与える影響を最小限にとどめられる様に、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所の省エネ及び車両のエコドライブに努めます。
3. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤や殺菌剤など適正管理に努めます。
6. 顧客満足度の向上、売上の向上に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
8. 上記、環境方針を達成するために全従業員の力量向上に努めます。



制定日：2018年6月14日

改定日：2019年7月12日

取締役社長 堀 展久





□組織の概要

更新日： 2020年4月2日

- (1) 名称及び代表者名
平成ハイテック株式会社
代表取締役会長 平尾 保
- (2) 所在地
本 社 大阪府大阪市西区靱本町 3 丁目10番 3 3 号
住之江倉庫 大阪府大阪市住之江区平林北 2 - 4 - 1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 平尾 吉隆 TEL : 06-6445-2424
担当者 三浦 真由子 TEL : 06-6445-2424
- (4) 事業内容
化学工業薬品製造販売業/産業廃棄物処理業
- (5) 事業の規模
法人設立 1974年6月5日
資本金 3,600 万円
売上高 ##### 万円

	本社	住之江倉庫
従業員	10 名	13 名
延べ床面積	608 m ²	1468 m ²

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量 産廃廃棄物	3,516 t
収集運搬量 特別産業廃棄物	18,742 t

車種	台数
10tタンクローリー	6 台
12tタンクローリー	4 台
17tタンクローリー	1 台
4t平ボディ車	1 台
4tモービルジェット	1 台
合計	14 台

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 平成ハイテック株式会社
対象事業所： 本社
住之江倉庫

□事業の紹介

化学工業薬品製造・販売



特殊清掃・化学プラントメンテナンス



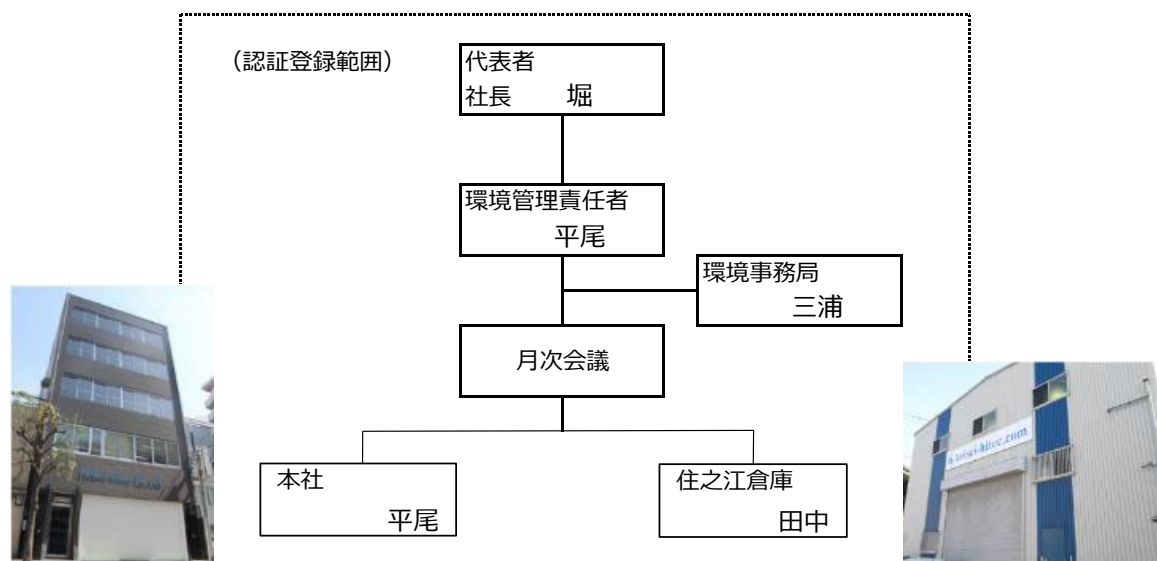
化学工業薬品輸送,産業廃棄物収集・運搬





□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年4月2日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、月次会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
月次会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集・運搬業許可証一覧

【許可内容】							【許可内容】								
政令都市	許可区分	許可番号	廃酸	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃ブラ	政令都市	許可区分	許可番号	廃酸	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃ブラ
大阪府	特別管理産業廃棄物	第02750003200号	○	○	○			広島県	特別管理産業廃棄物	第3450003200号	○	○	○		
	産業廃棄物	第02700003200号	○	○	○	○	○		産業廃棄物	第03400003200号	○	○	○	○	○
大阪市	特別管理産業廃棄物	第6650003200号	○	○	○			広島市	特別管理産業廃棄物	第7350003200号	○	○	○		
	産業廃棄物	第6600003200号	○	○	○	○	○		福山市	特別管理産業廃棄物	第09153003200号	○	○	○	
東大阪市	特別管理産業廃棄物	第6850003200号	○	○	○			呉市	特別管理産業廃棄物	第07452003200号	○	○	○		
	特別管理産業廃棄物	第6750003200号	○	○	○	○			山口県	特別管理産業廃棄物	第03550003200号	○	○	○	
堺市	産業廃棄物	第06700003200号	○	○	○	○	○	産業廃棄物	第03500003200号	○	○	○	○	○	
	特別管理産業廃棄物	第02851003200号	○	○					徳島県	特別管理産業廃棄物	第3650003200号	○	○	○	
兵庫県	産業廃棄物	第02801003200号	○	○	○	○	○	香川県	特別管理産業廃棄物	第03759003200号	○	○	○		
	特別管理産業廃棄物	第6950003200号	○	○	○	○			北九州市	特別管理産業廃棄物	第07650003200号	○	○	○	○
神戸市	産業廃棄物	第6900003200号	○	○	○	○	○	産業廃棄物	第7600003200号	○	○	○	○	○	
	特別管理産業廃棄物	第07150003200号	○	○	○				愛知県	特別管理産業廃棄物	第02350003200号	○	○	○	○
尼崎市	産業廃棄物	第07100003200号	○	○	○	○	○	産業廃棄物	第02300003200号	○	○	○	○	○	
	特別管理産業廃棄物	第9953003200号	○	○					名古屋市中	特別管理産業廃棄物	第06450003200号	○	○	○	
姫路市	特別管理産業廃棄物	第07053003200号	○	○	○			産業廃棄物	第6400003200号	○	○	○	○	○	
	産業廃棄物	第07003003200号	○	○	○	○	○		岡崎市	特別管理産業廃棄物	第10550003200号	○	○	○	○
京都府	特別管理産業廃棄物	第02650003200号	○	○	○			豊田市	特別管理産業廃棄物	第09050003200号	○	○	○	○	
	産業廃棄物	第02600003200号	○	○	○		○		岐阜県	特別管理産業廃棄物	第02150003200号	○	○	○	
京都市	特別管理産業廃棄物	第06551003200号	○	○	○			産業廃棄物	第2100003200号	○	○	○	○	○	
	産業廃棄物	第6500003200号	○	○	○	○	○		静岡県	特別管理産業廃棄物	第02251003200号	○	○	○	○
奈良県	特別管理産業廃棄物	第02950003200号	○	○				浜松市	特別管理産業廃棄物	第06353003200号	○	○	○	○	
	特別管理産業廃棄物	第10252003200号	○	○					福井県	特別管理産業廃棄物	第1857003200号	○	○	○	○
滋賀県	特別管理産業廃棄物	第02551003200号	○	○	○			産業廃棄物	第1807003200号	○	○	○	○	○	
	産業廃棄物	第02501003200号	○	○	○	○	○		富山県	特別管理産業廃棄物	第01656003200号	○	○	○	
和歌山県	特別管理産業廃棄物	第03050003200号	○	○	○	○		長野県	特別管理産業廃棄物	第2059003200号	○	○	○		
和歌山市	特別管理産業廃棄物	第07250003200号	○	○	○	○			新潟県	特別管理産業廃棄物	第1559003200号	○	○	○	
	産業廃棄物	第07200003200号	○	○	○	○		群馬県		特別管理産業廃棄物	第1050003200号	○	○	○	○
三重県	特別管理産業廃棄物	第02450003200号	○	○	○			茨城県	特別管理産業廃棄物	第00851003200号	○	○	○	○	
	産業廃棄物	第2400003200号	○	○	○	○	○		福島県	特別管理産業廃棄物	第0757003200号	○	○	○	○
岡山県	特別管理産業廃棄物	第3351003200号	○	○	○			東京都	特別管理産業廃棄物	第13-57-003200号	○	○	○	○	
	産業廃棄物	第3301003200号	○	○	○	○	○		神奈川県	特別管理産業廃棄物	第1453003200号	○	○	○	
岡山市	特別管理産業廃棄物	第08350003200号	○	○				横浜市	特別管理産業廃棄物	第05650003200号	○	○	○		
	産業廃棄物	第08300003200号	○	○	○	○	○		川崎市	特別管理産業廃棄物	第05750003200号	○	○	○	
倉敷市	特別管理産業廃棄物	第10050003200号	○	○	○			埼玉県	特別管理産業廃棄物	第01152003200号	○	○	○	○	
	産業廃棄物	第10000003200号	○	○	○	○	○		千葉県	特別管理産業廃棄物	第1250003200号	○	○	○	

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	0	1,197,283	1,042,338
電力	kg-CO ₂	0	8,394	8,256
化石燃料(合計)	kg-CO ₂	0	1,188,888	1,034,082
ガソリン	kg-CO ₂	0	17,702	21,630
軽油	kg-CO ₂	0	1,171,186	1,012,452
総水使用量	トン	0	764	751
一般廃棄物排出量	トン	0	386	416
普通産廃排出量	トン	0	163	50
特管産廃排出量	トン	0	103	11,720

□環境経営目標及びその実績

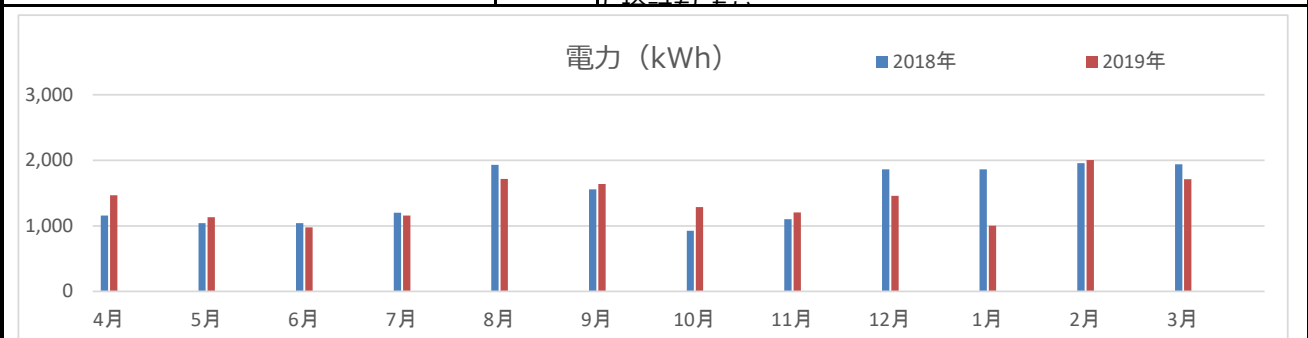
年 度 項 目		基準値	2019年		評 価	2020年	2021年
		通期 7月末まで	通期 7月末まで	通期 7月末まで			
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	8,394	8,226	8,256		8,059	7,975
		2,190	2,146	2,331	×		
	基準年度比	2018年	98%	98%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,188,888	1,165,111	1,034,082		1,153,222	1,141,333
		371,672	364,239	322,820	○		
	基準年度比	2018年	98%	87%		97%	96%
一般廃棄物の削減	kg	386	374	416		374	371
		157	152	134	×		

	基準年度比	2018年	97%	108%		97%	96%
水道水の削減	m	764	749	751		741	733
		241	236	246	×		
	基準年度比	2018年	98%	98%		97%	96%
危険に配慮した収集運搬	行動目標（次項による）						

□環境経営計画の取組結果とその評価

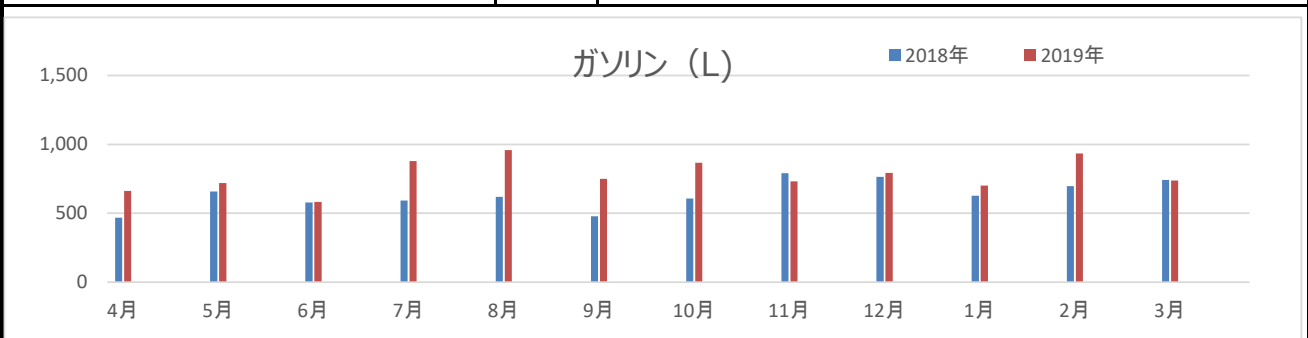
数値目標：○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	活動を開始してから少しずつではあるが効果が見えてきた。
・空調温度の適正化（上げすぎ下げすぎの確認）	○	メンバー全員が意識的に不要照明の消灯を心掛けるようになってきた
・不要照明の消灯	○	ことがエアコンを使う時期にも関わらず効果を発揮している。使用頻度
・パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている	○	低い階の証明もLEDにすることで建物全体がLEDとなるため予算化

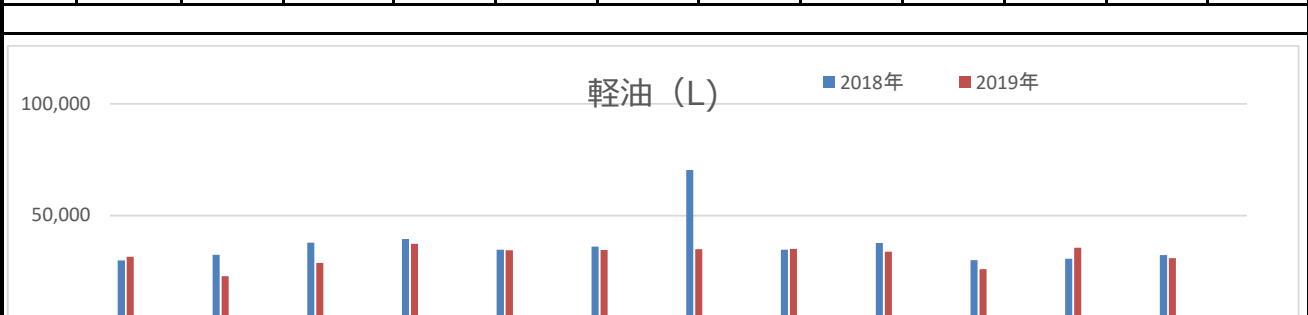


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	1,157	1,042	1,042	1,201	1,929	1,555	926	1,100	1,863	1,863	1,958	1,938
2019年	1,465	1,131	977	1,156	1,715	1,638	1,288	1,204	1,457	1,003	2,002	1,711

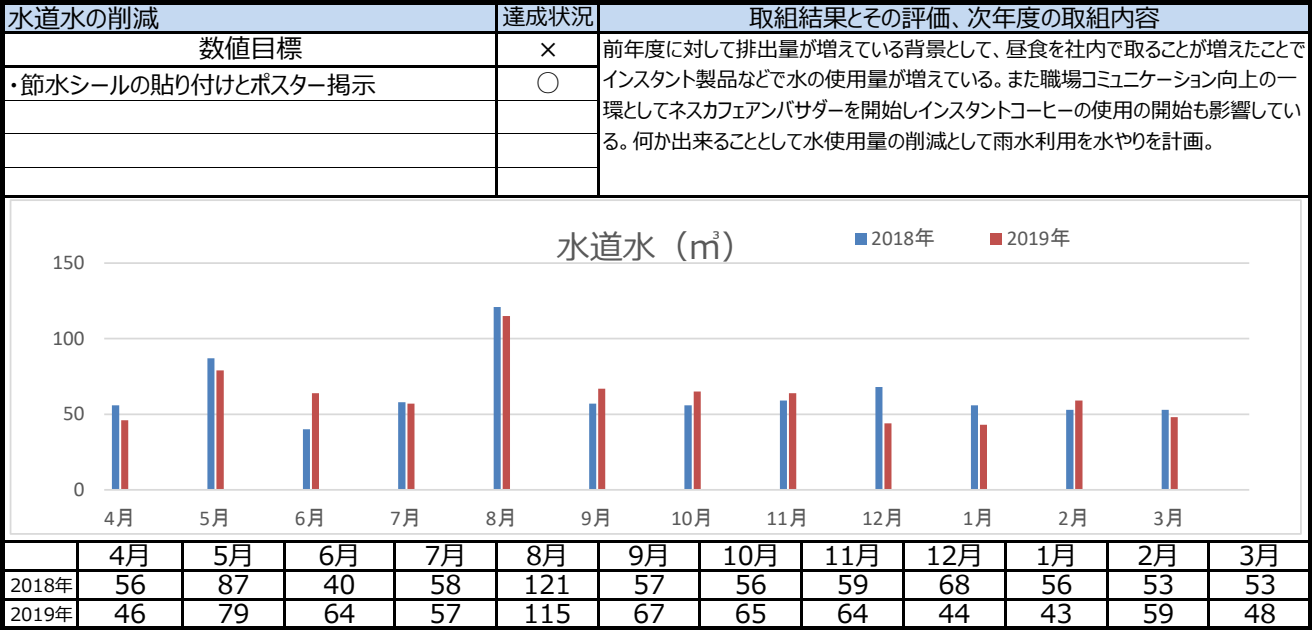
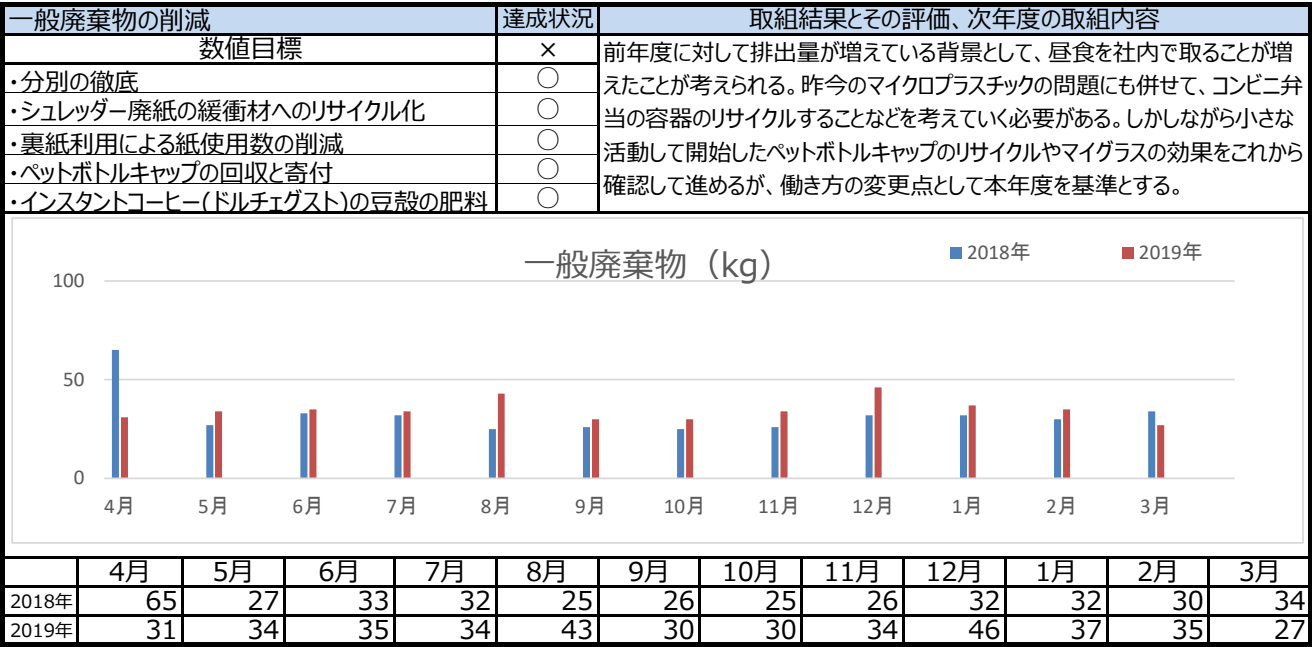
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	総合判定は各々が当日のスケジュールに対してどのルートが効率的かを考え、訪問先
・効率的なルートで配送・営業	○	の組み合わせに対して意識的に行動が出来てきていることが表れている。また車輛の
・エリア別営業ルートの見直し	○	ECOドライブ設定も多用することで燃費向上も意識的に実践が出来ている。また、ガ
・ECOモード走行を多用する	○	ソリンの使用量増加は車輛追加によるものであるため前年度との比較は難しく、運送
		業のため売上増加＝燃料使用量増加というジレンマがあるが引き続き各々が意識し



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	469	658	579	593	620	479	606	790	765	627	697	742
2019年	663	720	583	878	959	750	866	732	793	700	935	738



	0											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	29,892	32,370	37,789	39,540	34,714	36,051	70,354	34,720	37,757	30,020	30,722	32,349
2019年	31,551	22,841	28,795	37,307	34,457	34,566	34,905	35,060	33,757	26,023	35,628	30,903



☐環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
フロン排出抑制法	業務用空調機
毒物劇物取扱法	産業廃棄物収集運搬

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去 3 年間ありませんでした。

☐外部からの環境上の苦情と要望
 外部からの環境上の苦情と要望はありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 令和元年 7月3日(水) 13:30~14:00	■実施場所 平成ハイテック株式会社 本社
■参加者： 堀、田中、岡島、渡邊、國枝、矢路、三浦、浅野、平尾	■実施内容： 緊急時対応教育 地震発生想定避難訓練
■評価： 地震発生時の対応、津波発生時の浸水エリアの確認、消火器の操作方法を確認後に緊急地震速報を想定とした避難訓練を実施。改めて緊急時の行動とともに避難経路を確認が出来た。今回の避難行動開始から完了までの時間は、54.02秒であった。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 令和元年 7月20日(土) 18:00~18:30	■実施場所 平成ハイテック株式会社 住之江車庫
■参加者： 山本、阿部、中久保、佐藤、山内	■実施内容： 構内作業での流出事故対応教育
■評価： 入構教育と現場での流出事故防止と流出事故発生を想定した対応教育を実施。 乗務員それぞれが注意し作業を行っているが、主任からの振り返り教育とディスカッションにより認識の一致が図れた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2020年4月2日

エコアクション21への取組み、挑戦を始めて苦節3年でようやく社内で環境経営の考えが浸透して参りました。

全従業員が環境を意識して行動することが経営に直結するということを肌で感じ、各々が積極的に活動を進めてくれます。

目標に関してもしっかりと数値による“見える化”によってその都度の達成状況に一喜一憂し、次の打ち手を楽しみながら創出しています。

その姿を代表者として誇りに思います。そして全員の取組み意欲を120%に発揮出来るように自らが導きながら、

一丸となって目標達成に向けて努力していくことが重要と考えます。

昨今の貿易摩擦による経済不安、高齢化や環境問題など、

我々の組織にも影響がある中で課題をチャンスとして捉え、

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

インスタントコーヒーの豆殻の再利用から屋上緑化による断熱への取組み

